

2020 年度労使関係研究協会事業報告

1. 労働講座の開催

第 28 回労働講座の開催

日 時：2020 年 11 月 24 日（火）14 時～16 時

場 所：友愛会館 8 階友愛労働歴史館研修室

テーマ：労働運動 35 年を振り返って」

講 師：小出幸男氏（元 JAM 会長、前一般財団法人日本労働会館理事長）

参加者：22 人

概 要 今回の講座は参加者を限定した上でのリモート開催となった。

小出氏が日本ビクターに入社し、労働運動に入って 35 年の回顧。1972 年（27 歳）で青婦協活動に参加、80 年に 35 歳で書記長となる。民主的労働運動を基本に、労使対等の関係確立をめざす。特にビデオ事業の急成長により若年労働者を中心に 5 年間で組合員が倍増した時期。賃金、経営対策で会社をリード、共済事業を強化、海外支部活動の積極展開、関連会社の組織化に取り組む。

90 年に委員長となり、政治活動に本格的に取り組み、組織内議員を誕生させた。96 年にビクター労連会長となりゼンキン連合副会長。ここから対外活動が中心となる。

99 年に JAM 結成、2001 年に服部氏の後を受け JAM 会長に。同時に連合副会長として、連合中小共闘を再構築した。2006 年には政府の「成長力底上げ円卓会議」に、連合の高木会長らとともに参画し、最低賃金水準の引上げに尽力した。民主的労働運動と中小労働運動を核に、持ち前の牽引力で、精力的に活動されてきた 35 年間だった。

2. 「きずな」の発行

きずな 18 号を 2020 年 12 月 25 日に発行した。

今年は以下の 14 人から、18 本の投稿をいただいた。

1. 新渡戸稲造と三田友愛会館と私 個人会員 窪田哲夫
2. 友愛労働歴史館の一年を振り返って 友愛労働歴史館事務局長 間宮悠紀雄
3. 「あたりまえ」を築いていく 電力総連労政局長 山脇義光
4. 「イクさん」と呼ばれ続けた伊藤郁男さん 個人会員・アジア母子福祉協会監事 寺井 融
5. 行動様式の変化は価値観の変化につながる NPO 法人 DV 被害者支援活動促進のための基金理事 鈴木三津子

6. 家畜泥棒は悪しき産官学連携が原因？

一般財団法人日本労働会館理事長 宮本礼一

7. 日本銀行と貨幣博物館 労使関係研究協会事務局長 滑川太一

8. 「人生百年時代」への職場の光と影 個人会員 熊谷謙一

9. 神仙沼の絶景、今も 個人会員 小林弘之

10. 田中良一さんを偲んで 個人会員 渡邊ひな子

11. ローカル線で各駅停車の旅を楽しむ 宮本礼一

12. 野鳥ライブラリ 一般財団法人日本労働会館総務部長 菊池正範

13. 日本の労働力不足と移民問題 宮本礼一

14. 友愛会館だより (株)友愛会館総務部長 内田秀行

15. 菜の花と青空、白い雲 個人会員 小林弘之

16. 令和二年（二〇二〇年）という年 個人会員 深澤準一

17. コロナコロナのこの一年 滑川太一

18. 編集後記 事務局 安部千恵

3. 情報60号の発行（2021年1月）

新年あいさつ

友愛労働歴史館から

労使関係研究協会から

4. 大会メッセージの送付

2020年4月～2021年2月まで、60組合に大会メッセージを送付した。

5. 友愛会創立を記念する会

2021年2月10日、16日に友愛会創立を記念する会・事務局長および主要役員と連絡を取り、4月以降の活動再開を確認。